

2022 3/22

No.2159

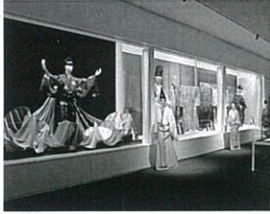
毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の世界観を体感できる「大河ドラマ館」が1日、鶴岡八幡宮（鎌倉市）の鎌倉文華館鶴岡ミュージアムにオープンした。



政経かながわ

2022 3/22 No.2159

contents

視点点描	3
希望が見えるレシピを	
政治	4
保守分裂選挙の「政治」学 激戦の石川県知事選を分析	
政治双眼鏡	7
混沌の時代が始まった 日本外交の最終目標は？	
社会	8
なぜ女性は東京を目指すのか 雇用環境の変化に対応を	
くらし2022	12
障がい者トラブル「解決人」各地に	
神奈川県景気データファイル	14
神奈川県景気データファイル	15

事務局だより

◇2022年4月定例講演会
4月25日（月）午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ5階「リビエラ」
講師：元横浜高校野球部寮母・管理栄養士 渡邊 元美 氏
演題：「家族で目指した甲子園～渡邊家の娘に生まれて」
※定例講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって中止または延期する場合があります。

【お知らせ】神奈川県政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



希望が見えるレシピを

何年ぶりだろう。慣れない
フォークとナイフを駆使して、
コース料理を楽しんだ。

娘の就職祝い。地場産の野菜を
使った前菜とスープで始まり、近
くの漁港で水揚げされたマダイ、
かながわブランド牛のローストと
続く。オーナーは「お客さんも生
産者も喜んでもらえるように、み
んなで知恵を出して地元の食材を

アレンジしています」。

地産地消にこだわり、客の満足
度だけでなく農家や漁業者の熱意
にも応える。コロナ禍でその思い
が一層強まったというから、また
訪れて応援したくなる。

さて、こちらのレシピにはどん
な工夫が凝らされているのか。
県内自治体の2022年度当初
予算案が出そろった。一般会計は

全体の8割がプラス編成で、県と
全33市町村のうち半数が「過去最
大」を更新した。コロナで落ち込
んだ企業業績や個人消費の回復に
よる地方税収の伸びが、全体を押
し上げたという。

積極型の予算とはいえ、自由に
使える財源が増えたわけでもなさ
そうだ。社会保障費など義務的経
費は相変わらず膨らみ続け、政策
的経費も多くはコロナ対策に充て
られるのが実情。財政硬直化から
抜け出すのは容易ではない。

それでも、人口減少や脱炭素、
デジタル社会を見据えた取り組み
は不可欠で、今のうちに未来への
種をまかなければならない。目先
の課題解決に甘んじていては、遠
からず対策の遅れが問われること
になるだろう。

予算案は「暮らしのレシピ」な
のだから、首長にとってもその発
表は年に一度の晴れ舞台と言え

る。しかし、記者会見や議会答弁
では耳慣れたフレーズしか聞こえ
てこない。全国に先駆けた新規施
策や政府を動かす斬新な地域戦略
を打ち出す気概も見えてこない。

住民や企業は希望が持てる言葉を
求めているのに、さみしい限りだ。
コース料理とは異なり、行政の
施策に前菜やメインといった格付
けはないけれど、多彩なメニュー
で地域を元氣したい思いは同じは
ず。まちが活気づけば、再び訪れ
たくなる魅力や住み続けたくなる
愛着が増していく。そんな好循環
を生み出す仕掛けづくりは、住民
に刺さる言葉で未来を語るリー
ダーの姿勢にも掛かっていよう。

日本をリードする独創性と実行
力を備えた神奈川の自治体。今こ
そ、知恵と工夫で苦境を乗り越え
る底力を見せてもらいたい。

(神奈川新聞社報道部長

香川 直幹)